

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌（CRE; Carbapenem-Resistant Enterobacterales）

による院内感染について <第8報>

当院では、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）による院内感染について、引き続き対策を強化しております。

新たな CRE 陽性患者さんの確認

2026年2月3日に、入院患者さん全員を対象とした10回目のCRE検査（便）を実施しました。

その結果、新たに1名の患者さんからCREが検出されました。

なお、これらの患者さんはいずれも保菌者であり、CREによる感染症状は認められておりません。

また、現在CRE保菌者として院内で隔離入院されている患者さんについても、感染対策を徹底したうえで対応しており、いずれの患者さんにも症状は見られておりません。

専門家を交えた会議の開催

この結果を踏まえ、2026年2月16日には拡大院内感染防止対策委員会を開催（定例会議として開催）いたしました。

当院の感染対策メンバーに加え、静内保健所、国立感染症研究所、道立衛生研究所、さらには徳洲会グループ本部の専門家の方々に、オンラインまたは対面でご参加いただき、感染対策に関するさらなる協議を行いました。専門家の方々から貴重なご意見をいただき、今後も引き続き、すべての患者さんのCRE検査を定期的実施し、感染対策を徹底してまいります。

患者さんやご家族の皆さまにはご心配をおかけしておりますこと、心よりお詫び申し上げます。

また、感染状況や当院の対応については、今後も定期的に情報を公開してまいります。ご理解とご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、本件に関するご意見・お問い合わせは、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

【お問い合わせ先】 contact@hidakatokushukai.com

2026年2月17日

日高徳洲会病院 院長 井齋 偉矢